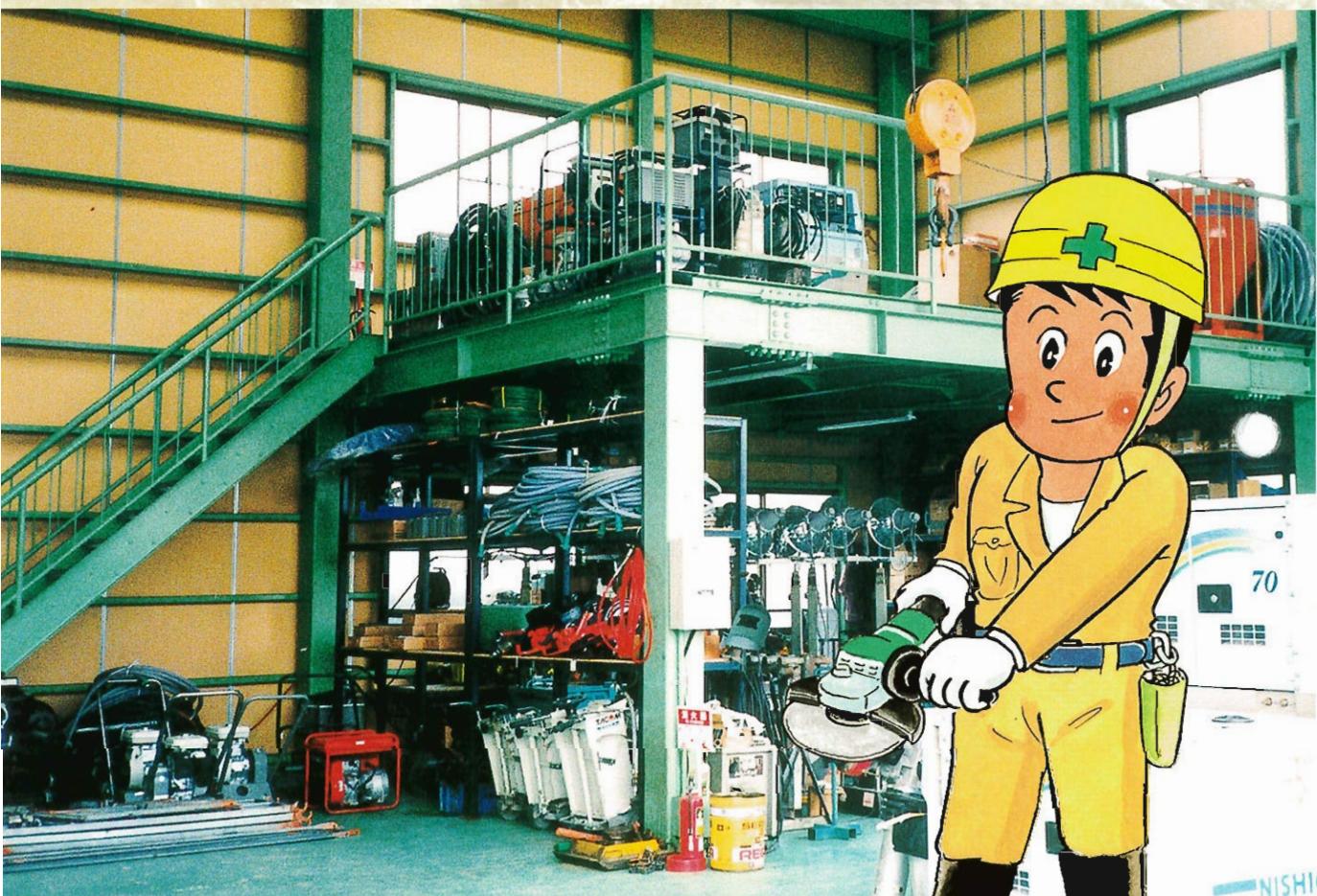


安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2000
Vol-6
48

「持ち込み機械の管理・
チェックはキッチリと!!」 の巻



インターネットホームページ
『安全くんネット』もご覧ください。
<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

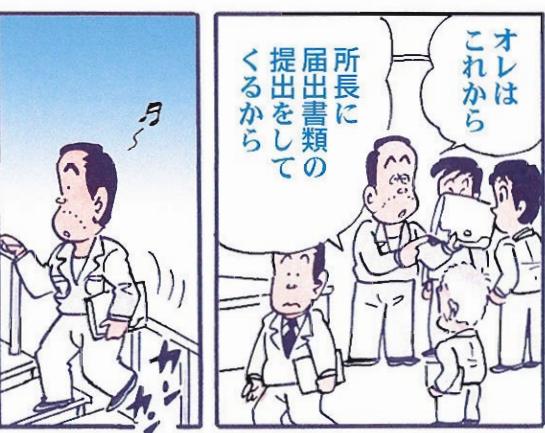
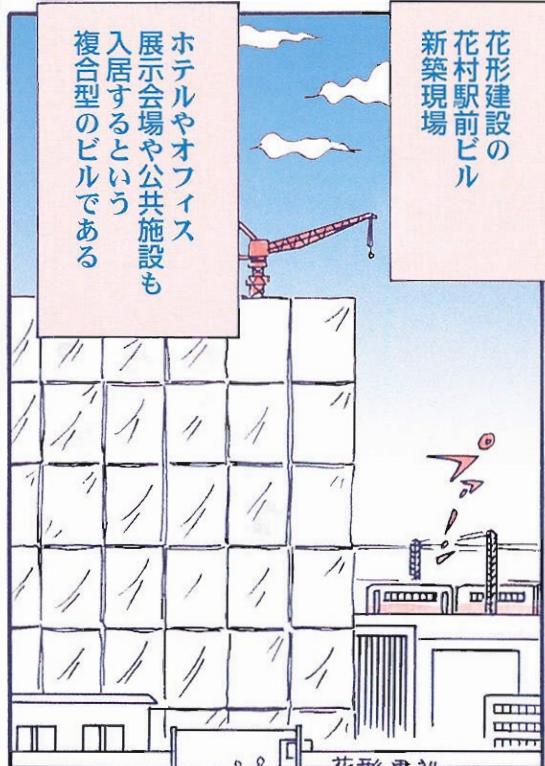
〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

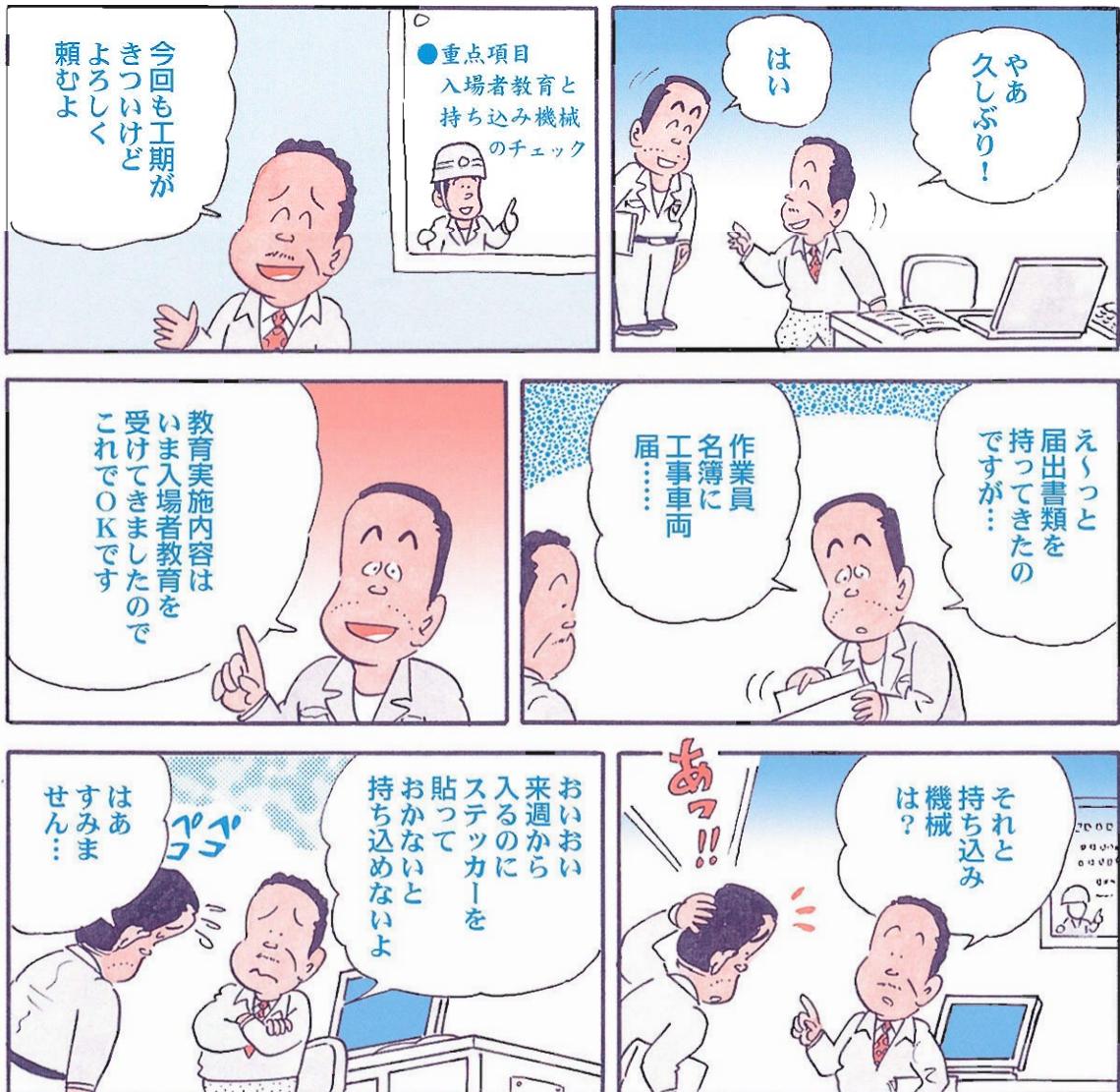
じゃらん!! 安全くん

画 中村よしのぶ



「持ち込み機械の管理・ チェックはキッチリと！」の巻





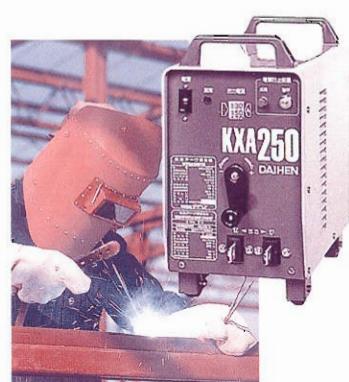
解説コーナー

電気機械器具の法定点検義務事項

◆電気器具の使用前点検は、自分自身の感電防止のためであり、また同じ電気系統を使う作業員など周囲の安全にも重要なポイントとなるので、正しい知識を習得して点検を行うとともに、不良個所があれば電気関係の担当者に相談し、勝手な判断で修理をしないこと。

◆電気器具の点検・清掃を行う際は、必ずスイッチを切り、コンセントを抜いて行うこと。

- 1) 溶接棒ホルダー = 絶縁保護部分の損傷の有無（絶縁ホルダー）
- 2) 交流アーク溶接機 = 自動電弧防止装置の作動状態の確認（テストボタンで確認）
- 3) 漏電遮断装置 = 感電防止用漏電遮断装置の作動状態の確認（作動テスト）
- 4) 電動機器具 = アース線の切断・亀裂、浮き上がりなどの異常の有無（芯の剥き出し、ブヨブヨ）
- 5) 移動電線・接続器具 = キャブタイヤケーブルまたはコネクター・アースプラグ等の被覆、外装の損傷の有無
- 6) 検電器具 = 性能のチェック（正常にチェックできるか）
- 7) 短絡接地器具 = 損傷の有無
- 8) 絶縁用保護具・防具 = 損傷の有無と乾燥状態を確認





サンさんのワンポイントレッスン

『良い仕事は、よく手入れされた道具から』 ～職人たちの意識を向上させるために～

現場での負傷事故で、日常的に発生しているのはハンディ工具類の取り扱い上の不注意やメンテナンスの不備によるものが多く、手足・指先を負傷される事例が一向に減りません。専門工事業者の職長の皆さん、再度品質向上と安全面から各人が使用する道具の正しい使い方と日常の点検方法の徹底をお願いします。



1) 作業前の点検・確認

(朝のミーティングでこの辺りを呼びかけておいてください。)

- ①まず外観検査。本体カバーやコード、そして重要なのが作業部分（大半が道具の先端部）を、電源を切った状態で不具合がないかチェックすること。
 - ②そして、異常が無ければ安全な姿勢・場所で試運転すること。回転部分が変な動きをしていないか、異常音はないかなどをチェック。
 - ③特に、グラインダーの砥石やドリルのビットなど消耗する部分をよく確認する。
- 2) 作業終了後の措置
- (終わりが肝心。どうしても帰る間際はラフになる。)
- ①1日異常が無ければ、どうしても無意識にぞんざいに扱ってしまうもの。コードの巻き取りは丁寧に、ほこり・削りくずなどが付着すればキチンと掃除をする。そして、保管も決められた場所に！
 - ②消耗部分の交換が必要であれば、翌日にせずその日の内に！（当然、予備の部品は用意しておくこと）

最近
持ち込み機械による
事故が多い
らしくてね
この現場でも
重点チェック項目
なんだそ�だ



でもいつも通り
でしよう？

何か
特別に
される
んです
か？



いいな！
各自しつかり
点検してたら
戻つたるが
事故が起きてるんだ
保守と管理が
ズサンだから

バカ！
何いってんだ！
そうですよ
ステッカーと
いつても
かつこいい
デザインなら
許せるんですけど：

現場に入るたびに
使慣れた工具に
ベタベタと
貼られるのが
イヤでのう
ステッカーを



清掃と見極めが肝心！～電動ドリル&ハンマー編～

コンクリートのはつり・穴開けに使用する電動工具は、削粉や塵によるトラブルが起きやすいので、日々清掃とメンテナンスが大切です。意外に見落としがちな消耗品、本体のモータ部分にあるカーボンブラシの摩耗が大きくなるとモータを傷めるので早めの交換をしましょう。

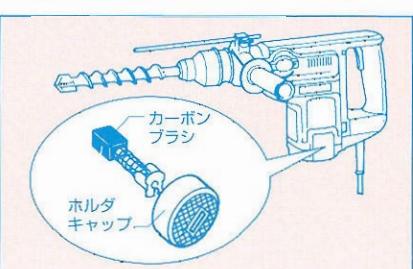
見極めよう消耗品の交換時期！

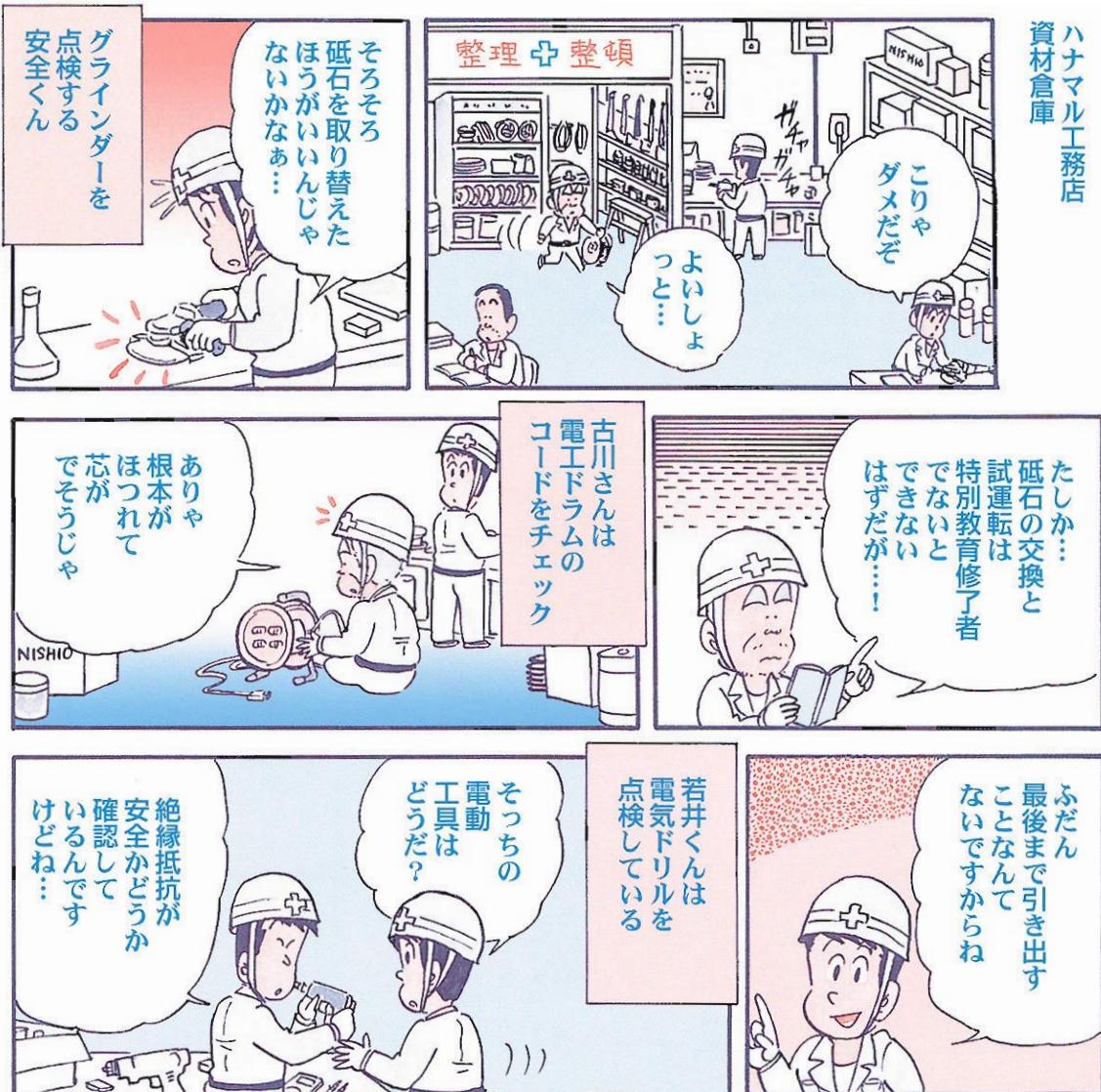
カーボンブラシはモータへ電気を送る架け橋。回転、打撃しない、または作動中に停止する症状は、ブラシの磨耗が考えられます。消耗品ですから時々取り外して目視点検をしましょう。

清掃で目詰まり防止！

削粉や塵が飛散する悪条件下、モータ内部へ埃やゴミが溜まると故障の原因となります。使用後は掃除機で清掃か、モータを無負荷で回転させ内部のゴミや埃を排出させましょう。（水洗厳禁）

☆切削、はつり作業は粉塵が発生します。防塵マスクや衛生保護具をご使用ください。





解説コーナー

—安全のABC—

- 持ち込み機械、特に小型ハンディ工具や機械類の事故では、ヒューマンエラー（その人物に起因する事故）が大半を占めていると言われています。このヒューマンエラーへの警告としてよく言われる表現に「安全のABC」つまり、A=当たり前のこと、B=ボンヤリしないで、C=チャンとやれ！というものがあります。
- 意外に作業員が機械・工具について正しい知識を持っていないことが多く、使用方法・その機械の危険性、日常の点検方法など、いわゆる「当たり前のこと」を教えること、知ろうとすることがおろそかになってしまいませんか？
- 「ボンヤリして」というのは、使用方法などを知っていても、つい何気なく簡単な方法でやってしまったり、下準備もせずに機械を操作し災害に結びつくなど、注意力が散漫な状態を指します。
- よくトラブルが起こってから、どうしていたのか本人に聞いても「いつもの通りチャンとやりました」という返事が帰ってきますが、その過程を話させますと、ほとんど詳細までは覚えておらず、手順通り確認していたのか疑わしい事例が多いようです。「チャンとやる」というのは、正しい使い方、手順で注意を払い意識して作業せよ！という意味であることを徹底してください。
- 「安全のABC」、小型機械関係だけでなく、様々な場面で使えそうな教訓です。





照明器具は防火措置も忘れずに！～ハンディ照明灯の使用上の注意～



現場の明かりと言えば、受電式のハンディ照明灯ですが、使い放しで点検を忘れていませんか？簡単な商品構造ですが、使用環境や状態が悪いと火災や漏電事故を招きます。

火災の危険！電源元から点検を！

長時間連続使用するハンディ照明灯は、電源プラグに水分や埃が付着すると発火する恐れがあります。特に空気が乾燥する秋から冬場は、プラグの周囲に引火物や埃を溜めないように整理整頓しましょう。

危険の芽、漏電、火傷対策も忘れずに！

プラグのアース線は然り、外観のガード部分に欠損がないか日々確認しましょう。長時間照明した電球は球面が熱くなっているので、ガード無しでは、手や身体が触れ火傷を負うので、故障品は修理交換をしてください。

☆電工ドラムを使用する際は、コードをドラムに巻いたままでは、発火する危険があるので注意してください。



